

< なるほど！知っ得 >

戦後新制中学校教育のスタート地



昭和22年4月から実施予定の学制改革を見据えて、昭和21年には毛無山にあった島根県青少年修練道場（毛無道場）を解体移築（新校舎）し、旧青年学校校舎（旧校舎）とつないで新制中学校校舎としました。

この絵は旧校舎と新校舎をつないだ新制中学校の木造校舎です。戦後のことですから、予算もなく新校舎をつくることは大変な困難な事業でした。幸いにも阿井は青年学校校舎を活用することができ、また島根県から毛無道場の建物を譲り受けることができたことから、いち早く中学校校舎を得ることができました。昭和26年には増える生徒数に対応して西側に校舎が増築されました。

写真にみられる新しい校舎では、昭和30年に全面改築がなされ、昭和48年仁多中学校に統合するまで阿井地区の中学校教育が進められました。